

令和3年度第1期特別展示室コレクション展

HAPPY YELLOW

2021年4月3日(土)～7月4日(日)

「赤の記憶」「白い情景」「青のヴァリエーション」に続く、色彩をテーマとするコレクション展の第4弾です。今期は黄色を効果的に用いた作品をご紹介します。

黄色が喚起するイメージにはさまざまなものがあります。たとえば、菜の花やタンポポなどの花、ヒヨコの羽毛、あるいは果物や卵料理などの食物を思い浮かべる方もいるでしょう。あたたかさや優しさ、記憶に残る味覚や幸福感などの感覚と結びつく一方、ビビッドな黄色と黒色の組み合わせには、ハチなどが外敵を威嚇する警告色としての一面もあり、危険区域を示すサインとしても用いられています。コレクションのなかには、そうした危機感に訴える意図で黄色を用いた作品もありますが、ここでは「幸福の黄色」をテーマに、室内、戸外、作家の胸中にひろがる多様な黄色に注目しました。

いずれの作品でも黄色はそこに陽だまりがあるかのように画面を引き立て、わたしたちに明るい光を投げかけます。そうした黄色の発するイメージに、ささやかな幸福感を見出していただければ幸いです。

出品目録

作者名	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)	受入年度等
1 木村忠太	樹の下で	1976(昭和51)年	麻布、油彩	100.0×100.0	松井慶夫氏寄贈
2 山本鉄男	黄色い男	1979(昭和54)年	紙、水彩、他	36.4×26.0	平成6年度寄贈
3 中村正義	男女	1963(昭和38)年	紙本着彩	162.1×130.2	平成10年度購入
4 星野眞吾	地図による作品	1953(昭和28)年	紙本着彩	61.0×88.3	平成7年度購入
5 三岸節子	花	1998(平成10)年頃	麻布、油彩	40.8×31.8	令和元年度寄贈
6 三岸節子	室内	1943(昭和18)年	麻布、油彩	91.2×117.0	平成12年度購入
7 荻須高德	黄色い家	1984(昭和59)年	麻布、油彩	80.3×100.0	平成3年度購入
8 島田鮎子	庭園	1981(昭和56)年	麻布、油彩	162.1×130.0	平成25年度寄贈
9 笠井誠一	室内(観葉植物のある)	1986(昭和62)年	麻布、油彩	116.7×90.9	平成14年度購入
10 笠井誠一	洋梨とブルー	1992(平成4)年	麻布、油彩	39.2×52.0	後藤和子コレクション
11 大場 厚	雲	1975(昭和50)年	麻布、油彩	162.2×112.1	昭和54年度購入
12 上田 薫	玉子にスプーンA	1986(昭和61)年	麻布、アクリル・油彩	130.3×162.1	平成17年度購入
13 畔柳 赫	ひまわり	1965(昭和40)年頃	紙本墨画着色	91.7×176.2	平成4年度寄贈
14 三木 登	池堤の叢	2000(平成12)年	紙本着彩	130.3×194.0	平成30年度寄贈

豊橋市美術博物館

〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1

TEL.0532-51-2882/FAX.0532-56-2123

<http://www.toyohashi-bihaku.jp/>